

2022年7月6日
 一般社団法人日本能率協会

【報道資料／取材のご案内】

製造業・建設業向けに、生産性向上、持続可能な社会資本整備、レジリエンス向上を提案する専門展示会
「メンテナンス・レジリエンス TOKYO 2022」開催
2022年7月20日（水）～22日（金） 東京ビッグサイト東展示棟で開催

一般社団法人日本能率協会(JMA、会長:中村正己)(他2団体)は、2022年7月20日(水)～22日(金)の3日間、東京ビッグサイト東展示棟で、製造業・建設業向けに、生産性向上、持続可能な社会資本整備、レジリエンス向上を提案する専門展示会「メンテナンス・レジリエンス TOKYO 2022」を開催します。

本展示会は、下記の10の専門展示会と2つの特別企画で構成され、業界の枠を超え、関連の強い技術・情報交流を促進する場を提供いたします。

現在、展示会の公式ホームページ(<https://www.jma.or.jp/mente/tokyo2022/index.html>)にて来場者事前登録を受け付けています。なお、本展をご取材いただける報道関係者様は、取材お申込みフォーム(<https://www.jma.or.jp/press/index.html>)からご登録をお願いいたします。

◆専門展示会 10 展・・・「プラントメンテナンスショー」「インフラ検査・維持管理展」「建設資材展」「事前防災・減災対策推進展」「i-Construction 推進展」「無電柱化推進展」「再資源化・産業廃棄物処理・解体技術展」「地盤改良展」「交通インフラ設備機器展」「国際ドローン展」

◆特別企画 2 展・・・「土木・建設業向け AI/IoT/5G/システム/ツール特集」「BIM/CIM 推進ツール特集」

注目の出展者(一部抜粋) ※法人の種類略
◇国際ドローン展 ブース番号:M6-033
◆出展者:レッドクリフ 製品:ドローンショー

同社は国内最大 700 機のドローンを保有しており、企画から法的申請、アニメーション制作まで一括で提供するサービスを行なっています。LED のついたドローンを数百台飛ばすことにより、夜空に2D、3D のアニメーションを表示できるため、広告やプロモーション、地方自治体の活性化に活用されています。

今まで広告が視聴者に与えていた嫌悪感や既視感を、楽しみながら見ることのできるコンテンツに。また、観光資源が少ない地域の認知度を高め、観光客の誘致へ繋げる事ができるなど、様々な分野で注目されはじめています。


◇国際ドローン展 ブース番号:M5-238
◆出展者:Liberaware 製品:IBIS(アイビス)

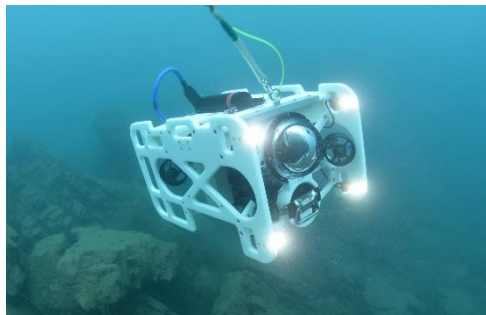
産業用小型ドローン「IBIS」は、「狭い・暗い・汚い・危険」な屋内設備を点検するドローン。操縦者は安全なエリアに位置しながら、ドローンだけを点検箇所まで飛行させていきます。人が進入できない施設や危険な施設、人が赴くのに時間や費用を要する施設などの点検に活用が進められています。撮影した動画データをもとに3D化や点群化、オルソ画像化といった映像処理まで行うことが大きな特徴で、機体と映像処理のテクノロジーにより、建設業のDXを促進し、業界の生産性向上に貢献することを目指しています。



◇国際ドローン展 ブース番号:M6-016

◆出展者:FullDepth 製品:産業用水中ドローン「DiveUnit300」

FullDepth 社が提供する産業用水中ドローン「DiveUnit300」は、カメラや音響センサーなどを利用し、周辺環境を能動的に把握して水中で機体を制御することが可能です。あらゆる用途に適用するため、お客様のご要望に応じてセミカスタマイズし、運用ノウハウと保守サービスをセットでご提供します。



◇プラントメンテナンスショー ブース番号:M4-197

◆出展者:ブイキューブ

製品:RealWear 製 音声認識型スマートグラス

遠隔作業支援のためのハンズフリーの完全音声操作スマートグラス。NETIS 登録の Web 会議システム「V-CUBE コラボレーション」で連携することで、低帯域環境下での安定した接続を実現。ズーム機能や照度の変更、PC 側からの遠隔操作など、現場と本部が円滑にコミュニケーションできる機能を現場向けにフルカスタマイズ。遠隔現場での電子小黒板をリアルタイムに共有可能(iOS 端末も対応)。本当に使える「遠隔作業支援システム」として評価されています。充実の 24 時間 365 日サポートあり。



◇事前防災・減災対策推進展 ブース番号:M4-246

◆出展者:エジソンハードウェア 製品:メガスピーク

災害発生時などで避難誘導の音声を流すことができる装置です。操作パネルで放送したいアナウンスを選択することで日本語・英語・中国語・韓国語でのアナウンスを繰り返し放送することができます。

操作手順を社内共有してもらうことで、誰でも同じ避難誘導を行うことができます。

収録アナウンスは外国人観光客が正しく認識できるようにネイティブナレーターによる録音を実施しています。



メンテナンス・レジリエンス TOKYO 2022 開催概要

名称:メンテナンス・レジリエンス TOKYO 2022

(構成展示会)

「プラントメンテナンスショー」「インフラ検査・維持管理展」「建設資材展」「事前防災・減災対策推進展」「i-Construction 推進展」「無電柱化推進展」「再資源化・産業廃棄物処理・解体技術展」「地盤改良展」「交通インフラ設備機器展」「国際ドローン展」「BIM/CIM 推進ツール特集」「土木・建設業向け AI/IoT/5G/システム/ツール特集」

会期: 2022年7月20日(水)~22日(金)10:00~17:00

会場:東京ビッグサイト 東展示棟4~6ホール

主催:一般社団法人日本能率協会 公益社団法人日本プラントメンテナンス協会(プラントメンテナンスショー) 一般社団法人日本ドローンコンソーシアム(第8回国際ドローン展)

展示規模:300社/ 550ブース(2022年7月4日現在)

来場予定者数:15,000名

同時開催展:第8回東京猛暑対策展、第9回東京労働安全衛生展、第1回騒音・振動対策推進展、TECHNO-FRONTIER2022、INDUSTRY-FRONTIER2022

全体展示規模(東展示棟1~6ホール):680社 1,250ブース(同時開催展含む)

全体来場予定者数:30,000名(同時開催展含む)

主催者企画<メンテナンス・レジリエンス特別講演会>

2022年は開催セミナー数を倍増させ、開催期間中に展示会場内にて実施いたします。製造業/土木・建設業における生産性向上についてなどの様々な取組み・仕組みを紹介することで、現場の力を取り戻し、着実に我が国全体の底上げを図るための一助となることを目的として開催します。

<注目のセッション(一部抜粋)>

- 第10回事前防災・減災のための国土強靱化推進セミナー「コンストラクションステージ」
7月20日(水)13:30~14:10
「東京都の無電柱化の取組みについて」
<冒頭挨拶>東京都知事 小池 百合子 氏
<講演者>東京都 建設局 無電柱化推進担当部長 福永 太平 氏
- メンテナンス特別講演会
7月20日(水)10:40~11:20
「ファストデジタルツインで高速DXを実現した最新事例」
日揮株式会社 デジタルイノベーション室 ビジネスデザイングループリーダー 金丸 剛久 氏
- 第8回国際ドローン展 JDC フォーラム/特別講演会
7月20日(水)10:40~11:20
「eスポーツとリアルスポーツの真ん中?! 今一番熱い近未来スポーツ ドローンサッカーのススメ」
一般社団法人日本ドローンサッカー 理事 井上 武夫 氏
- 第10回事前防災・減災のための国土強靱化推進セミナー「コンストラクションステージ」
7月21日(木)15:50~16:30
「感染列島強靱化論」
京都大学大学院 工学研究科 教授 藤井 聡 氏
- 第10回事前防災・減災のための国土強靱化推進セミナー「コンストラクションステージ」
7月22日(金)14:40~15:20
「AIとデータプラットフォームが拓くインフラメンテナンス」
東京大学大学院工学系研究科 附属総合研究機構 特任准教授 全 邦釘 氏

取材のお申込みについて

ご取材にあたってはプレス登録が必要です。円滑な入場手続きのため、**事前のプレス登録**へのご協力をお願いします。

※プレス登録いただいた方には、「プレスバッジ」「会場案内図」「取材に際してのお願い」をお渡しします。

事前登録:「取材お申込みフォーム」からご登録ください。 <https://www.jma.or.jp/press/>

当日登録:取材前にプレスルームにて受け付けます。

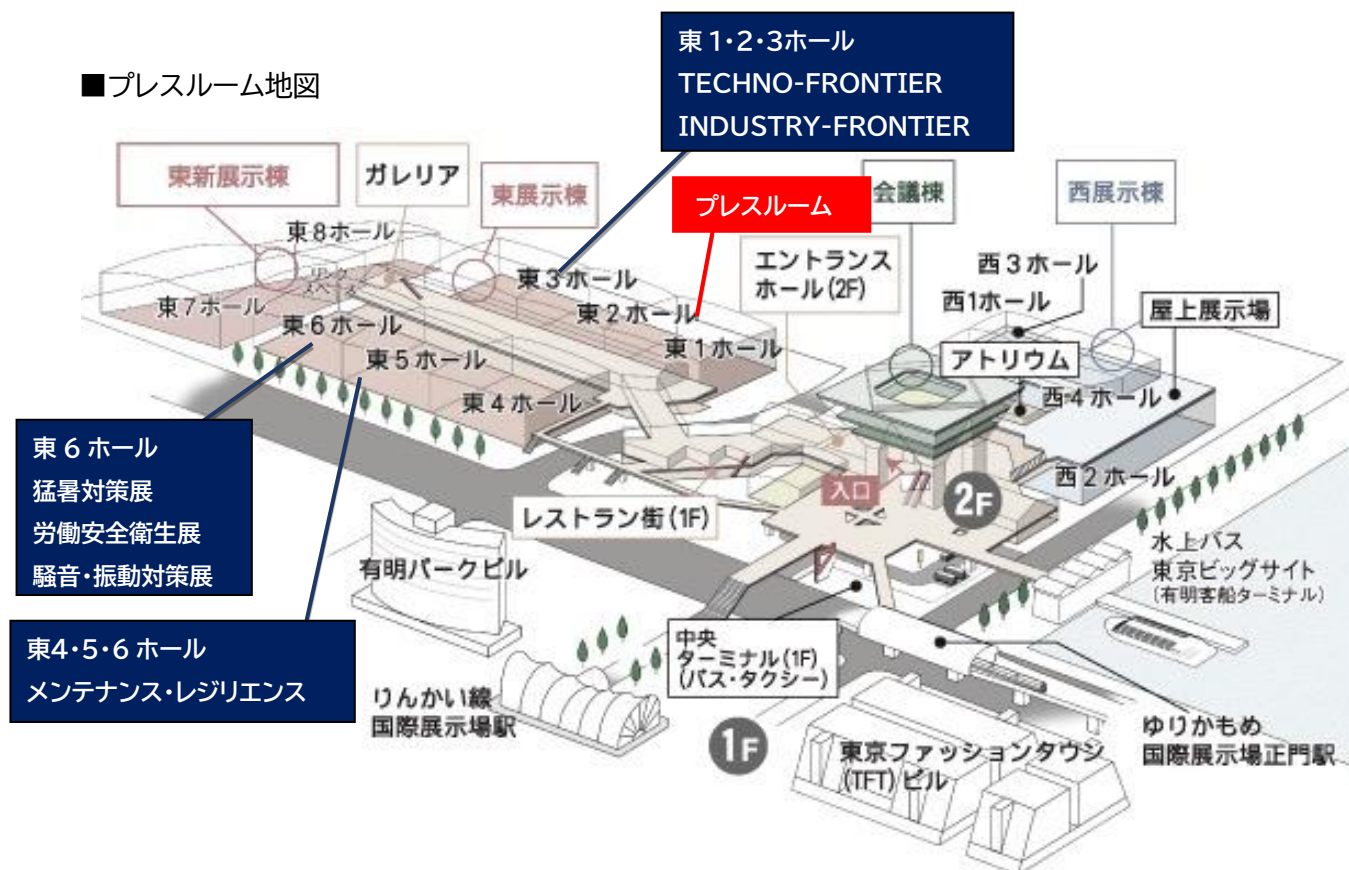
※プレス登録は、新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、Web 媒体などの取材／編集／報道に関わる方が対象です。報道機関の広告・営業部門、広告代理店、マーケティングリサーチ会社の方はご遠慮いただいております(上記の方は、一般登録でご入場いただけます)。ご理解の程、よろしくお願い申し上げます。

一般登録申込フォーム:https://www.jma-onlineservice.com/7all/jp_stt/registration.php

■プレスルームの開設日時、場所

開設日時	2022年7月20日(水)～7月22日(金)9:30～17:00
場所	東京ビッグサイト 東展示棟 1ホール 2階 商談室(3)

■プレスルーム地図



【展示会に関するお問い合わせ先】

一般社団法人日本能率協会 産業振興センター メンテナンス・レジリエンス TOKYO 事務局
担当:飯村、小板橋
TEL:03-3434-1988 E-mail:mente@jma.or.jp

【報道関係の方のお問い合わせ先】

一般社団法人日本能率協会 広報・マーケティング室 担当:綿貫
〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22
TEL:03-3434-8620または090-6510-9161 E-mail:jmapr@jma.or.jp